



教職員等記章
(平成15年4月導入)



学校から家庭へ、地域から地域へ、そして世代から世代へ。
いろいろな“学び”の姿をお伝えする教育プレス。保護者の皆さんへ教育のあれこれをお知らせします。

ばとん・ぱす

熊本県教育広報誌

熊本県教育委員会

vol.55

熊本県教育庁教育政策課
令和3年(2021年)1月

熊本県いじめ防止基本方針の改訂について

NEW

令和2年11月24日に、熊本県いじめ防止基本方針を改訂しました。この基本方針は、平成25年9月に施行された「いじめ防止対策推進法」に基づき、国の「いじめの防止等のための基本的な方針」を踏まえ、本県が国、市町村、学校、家庭、地域その他の関係機関の連携のもと、いじめの防止等のための対策を総合的かつ効果的に推進するため策定するものです。

この方針では、本県はいじめ防止等の対策に関する基本理念やいじめの防止等のための対策等、基本的な事柄を示しています。

<今回改訂の主なポイント>

国のいじめ定義解釈 一部変更について

- ・「けんかは除かれるが、…見極めが必要」とされていた部分を「けんかやふざけ合いであっても、…いじめに該当するか否かを判断する。」と改訂

国のいじめ解消要件 明示について

- ・いじめに係る行為が止んでいること(少なくとも3か月を目安)
- ・被害児童生徒が心身の苦痛を感じていないこと(面談等により確認)

情報集約担当者の新設について

- ・本県独自の施策として、各学校に最低一人、いじめに関する情報を集約する担当者を、新たに置くこととしました。

この他にも、学校の管理職の危機管理能力の向上、互いを思いやる言葉の大切さを児童に気付かせる指導の充実、更には、寮における生徒指導及び相談体制の充実などについて見直しを行っております。

詳細は、県教育委員会ホームページに掲載していますので、どうぞご覧ください。

<https://www.pref.kumamoto.jp/site/kyouiku/52365.html>



この記事に関する問い合わせ先：学校安全・安心推進課 096(333)2720

全ての特別支援学校で一人一人に応じた適切な指導 及び必要な支援の充実を図ります！

特別支援学校は、障がいのある幼児児童生徒を対象に、一人一人の教育的ニーズに応じて専門的な教育を行う学校です。自立や社会参加に向けた主体的な取組を支援する視点に立ち、子供たちが持っている力を高め、生活や学習上の困難を改善又は克服するため、適切な指導及び必要な支援を行っています。

しかしながら、昨年度以降、本県立特別支援学校において、教職員による不適切な行為を伴う指導事案が複数件発生しました。このことは、決して許されるものではありません。

このため県教育委員会では、全ての特別支援学校において適切な指導が行われ、幼児児童生徒が安心して学校に通うことができるようにするために、有識者からなる「熊本県立特別支援学校における適切な指導の在り方等検討委員会」を立ち上げ、再発防止や適切な指導を行うための協議を行っていただき、令和2年10月に提言が提出されました。

この提言を基に今後、以下の取組方針により、適切な指導の徹底を図って参ります。

検討委員会から提出された「提言」の概要 ※全文は県教育委員会HPに掲載



1 教職員に関する提言

障がいのある児童生徒への人権意識を高め、特別支援教育の専門性の向上を図っていくこと 等



2 教職員間に関する提言

経験の浅い教職員を実務の中での研修により支え、一人で抱え込まずに相談できる風土をつくること 等



3 組織に関する提言

複数の視点で確認し合う体制を徹底し、組織として機能する報告連絡体制を構築すること 等



4 保護者との関わりに関する提言

保護者の置かれた状態や考え・心情を理解するとともに、保護者の相談窓口を設置すること 等



取組方針

- 「適切な指導のための点検表」により、全ての教職員が定期的に自己点検を行い、幼児児童生徒一人一人に応じた適切な指導の徹底を図っていきます。
- 全ての特別支援学校が、提言を踏まえ具体的な再発防止策を掲げた「アクションプラン」を作成し、実行します。
- 全ての特別支援学校が提言に基づいた研修が行えるよう、県教育委員会として研修資料の作成・活用を図っていきます。

この記事に関する問い合わせ先：特別支援教育課 096(333)2683



未来の創り手となる子供たちの育成に向けた取組を紹介します！
～「熊本の学び」研究指定校の取組～

各学校では、学校教育目標や子供たちの実態などを踏まえ、子供たちに身につけさせたい資質・能力を設定し、子供、家庭、地域、行政と共有して連携・協働した教育活動に取り組んでいます。その中で、「熊本の学び」研究指定校の3校の取組を紹介します。

キャリア教育研究

大津町立大津中学校

研究テーマ

自ら未来を切り拓く力を身につけた生徒の育成



全ての教育活動で、キャリア教育の視点(5年後に社会で自立できる生き方を育む視点)に基づいた指導を行い、「自ら未来を切り拓く力」を身につけた生徒の育成を目指しています。「自ら未来を切り拓く力」を「つながる力」「解決する力」「見つめる力」「計画する力」の4つに分類し、授業改善等を通して研究に取り組んでいます。

7月と12月に行ったアンケートでは、「大津中が目指す4つの力が身につけてきた」と回答する生徒が増加していました。

学力向上プロジェクト研究

天草市立本渡中学校

研究テーマ

自ら「学び続ける力」の育成



「学び続ける力」を、「課題を見つける力」「見通す力」「振り返る力」「解決する力」に分類し、これらの育成に向けた授業改善等を通して研究に取り組んでいます。

令和2年12月1日(火)に行われた理科の公開授業では、道路の電線に注目し「電線は、どうして緩く張ってあるのだろうか」と生活体験を基に設定した学習課題を解決していく学習が行われました。子供たちは、「緩く張ってある電線」と「ピンと張った電線」を比較しながら、「緩く張ってある」理由を明らかにしようと実験に取り組んでいました。

学力向上プロジェクト研究

八代市立第一中学校

研究テーマ

「学びに向かう力」を備えた子供の育成



「学びに向かう力」を「自ら取り組む力」「見通す力」「いかす力」「粘り強く取り組む力」に分類し、これらの育成に向けた授業改善等を通して研究に取り組んでいます。

子供たちが「わくわくしながら意欲的に学びに向かう授業」「学び合うよさを実感している授業」など学びの質を高める授業づくりと、生徒会主催の放課後自習室など生徒の自己有用感を高める活動の充実に取り組んでいます。

令和3年1月28日(木)には、オンライン配信による公開授業を予定しています。

この記事に関する問い合わせ先：義務教育課 096(333)2688

新型コロナウイルス感染症に関する 差別や偏見の未然防止啓発ポスター・啓発チラシ

県教育委員会では、新型コロナウイルス感染症に関する差別や偏見の未然防止のために啓発ポスターや啓発チラシを作成し、県内の市町村教育委員会や学校に送付しています。感染した方やその家族、感染した方々の治療に当たる医療従事者などに対する誹謗中傷などの行為は決して許されるものではありません。SNS等の差別的な言動に同調したり、根拠のない不確かな情報を拡散したりしないようにしましょう。

～自分の人権を守り、他者の人権を守る責任ある行動～

だれだつて
いつだつて
感染しうるから、
差別や偏見は許されない!!

人を想うやさしさが
いい明日をつくる。



新型コロナウイルス感染症に関する偏見や差別の防止啓発ポスター

SNS上での誹謗中傷はダメ!!

差別的な言動に同調したり、根拠のない不確かな情報を拡散したりしません。



手を洗うモン
#WashHands



くっつかないモン
#KeepDistance



換気をするモン
#OpenWindow

熊本県・熊本県教育委員会

©2020 熊本県教育委員会

この記事に関する問い合わせ先：人権同和教育課 096(333)2702

「働くこと」について学びました!

県教育委員会では、児童生徒の勤労観や職業観を育むため、平成 19 年度（2007 年度）から「東熊会（とうゆうかい）会員による里帰り講話」を実施しています。「東熊会（とうゆうかい）」とは、本県出身で首都圏在住の企業役員及び企業役員経験者で構成する任意の親睦団体であり、会員の方々が里帰りする機会に講話をいただいています。

今回は、12月に実施した2校での様子を紹介します。子供たちは講師のメッセージをしっかりと受け止めていました。

菊陽町立菊陽北小学校

令和2年12月15日（火）実施

講師：厚生労働省 医務技監 福島 靖正 氏

今の仕事を選んだ理由や、仕事をするうえでどんな力が必要かを話していただきました。「社会人になっても学び続ける力」や「素直さや誠実さといった人間性」が特に大事だと伝えられました。



和水町立三加和中学校

令和2年12月21日（月）実施

講師：株式会社セブン銀行 代表取締役会長
二子石 謙輔 氏

利益のためではなく、お客様の不便や不満を解決するために新しいことにチャレンジすること、人生に失敗はつきものであり、「情熱」と「志」をもつことが大事だと熱く語られました。



この記事に関する問い合わせ先：教育政策課 096(333)2699

生涯学習フェスティバル in パレア

vol.19



申込不要!
視聴無料!

わくわく

パレアフェスタ

子供向けの動画がいっぱい!!

今年は、熊本の歴史やコミュニケーションスキル、工作、スポーツなど、子供たちが楽しく学び・体験できる21個のプログラム（平均10分程度）を動画で配信します。

「いつでも どこでも だれでも」見るすることができます。PC、スマートフォン、タブレット等でお楽しみください。

☆対象 小・中学生向け ※幼児、高校生も楽しめる内容です。

☆配信期間 令和3年1月23日（土）～令和4年3月31日（木）の約1年間

☆配信方法 熊本県生涯学習推進センター公式 YouTube チャンネル

インターネットで「学びネットくまもと」と検索 または QRコードから

みんな 見てね!



おうちでできる工作アート
～ハーバリウム作り～



チャレンジプロジェクト
～バスケットボール～



マナビィの
熊本城修学旅行体験記



この記事に関する問い合わせ先：熊本県生涯学習推進センター 096(355)4312

きくちじょう 探そうぜ！鞠智城ネイチャーゲーム

自然豊かな鞠智城でどんぐりや動物の足跡をさがしてみよう！

山鹿市と菊池市にまたがり、自然の山の地形を生かして造られた鞠智城。その歴史だけでなく豊かな自然も魅力の一つです。11月22日に開催した「探そうぜ！鞠智城ネイチャーゲーム」では、城内にある6種類のどんぐりや動物の痕跡を探しながら散策しました。それぞれのどんぐりの特徴から名前をあてたり、動物の足あとや「ヌタバ」という動物のお風呂などを見つけることができました。

どんぐりは2月ごろまで見るすることができますので、お気に入りのどんぐりを見つけにきてくださいね。ネイチャーゲームの資料は鞠智城・温故創生館でお配りしています。



←どんぐりの種類を見分けるにはまずパンツ（糞斗）に注目



ヌタバ→
動物が泥に体をこすりつけてダニなどを落とす



イノシシの足あと↑

有識者による鞠智城座談会を開催しました

熊本県には、少なくとも500を超える城がありました。その中でも古代の城はこの鞠智城1つしかありません。全国でも22ほどしか確認されていない貴重な城です。鞠智城は、今から約1350年前に大和政権によって、国を守るために築かれました。1350年前のことなので、まだわかっていないことも多く、有識者による研究が現在も続けられています。今回は4名の研究者をお招きし、鞠智城が周辺地域とどのような関わりをもっていたのかを座談会形式で話し合いました。この座談会の様子は2021年2月ごろ動画配信予定です。配信日程等の詳細は、決まり次第鞠智城ホームページに掲載します。

<https://kofunkan.pref.kumamoto.jp/kikuchijo/>

「きくちじょう」で検索ください。



この記事に関する問い合わせ先：歴史公園鞠智城・温故創生館 0968(48)3178

編集・発行：熊本県教育庁教育政策課

〒862-8609 熊本市中央区水前寺6丁目18番1号

Tel：096(333)2699 Mail：kyouikuseisaku@pref.kumamoto.lg.jp

☆本誌に対するご意見やご感想はお気軽にどうぞ☆